

NPO・きらめき広場

2021

3

MAR.

VOL.189

きらりら

KI

RA

RI

RA



ライフアートTessei
難波 ふく枝
「無題：アクリル他」

哲西地区自主防災会からのお知らせ



昨年12月13日(日)に、哲西地区防災訓練を行いました。避難所開設訓練や防災ワークショップ、防災実習、防災用品の紹介などの活動に取り組みました。防災ワークショップでは、避難所の運営は避難者自身が行うことや避難時要支援者への対応、避難所での要配慮者への配慮などを話し合いました。その際、アンケートで参加者からのご意見やご感想をいただきましたので、一部のみですが紹介します。

《皆様からのご意見・ご感想》

- ☆実際に災害があったときのためにも、平素から、気をつけたり準備しておいたり、考えて協力する必要があると思う。
- ☆総代会で今回のような説明をして、理解してもらってほしいです。
- ☆集会所がバリアフリーになっていません。
- ☆ワークショップをしてみて、色々な事に気づきました。
- ☆小地域で、住民が全員参加で、実際に考えてシミュレーションする方が良いと思う。
- ☆不安な所が多い。 …などなど



早急に改善が必要な側溝の改良や豪雨時の浸水対策、危険地区の安全点検、集会所の改善などについて、哲西地区自主防災会からの意見として支局に要望しております。市民みんなが、「自分の命は自分で守る」ために、危険地域の点検や要支援者の避難支援についての話し合いなど、日頃からできることをそれぞれの地区で取り組んでいきましょう。

認知症カフェ きらめき 第34回 開催



自分の顔で
「福笑い」

目、鼻、口などを描きこんで
…全部いい顔



2月3日、きらめき広場・哲西文化ホールで
新型コロナウイルス感染症予防策を講じて、
第34回目の認知症カフェを実施しました。

皆さん、お気軽にお立ち寄りください

開催日時：3月3日(水) 13:30~15:30

場 所：きらめき広場・哲西 文化ホール

内 容：カフェタイム、ミニ講話(専門的情報を受け取る)、
参加者同士の語らい、ミニイベント、情報交換、相談など

参 加 者：気軽に誰でも参加できる
(認知症の人、介護家族、地域住民、専門職など)

参加費：1人1回、200円

主 催：きらめきカフェ運営委員会

開催予定日 ▶ 4月7日(水)・5月12日(水)

*変更の可能性もありますのでご了承ください。





「かかりつけ医」って？

「かかりつけ医」って知っていますか？

自分の生活環境を知ってくれた上で、身体的な健康の他に、心の悩みも含めて相談に乗ってくれるお医者さんのことです。

「かかりつけ医」のメリット

どんな病気でも相談できる

病気かなと思った時に、まずどんな病気でも真っ先に相談できるお医者さんがいれば、状況に適した医療がスムーズに受けられます。

いつでも相談できる

病気は24時間365日、いつでもどこでも発生します。「かかりつけ医」を基点に、地域医療機関との連携により、「いつでも、どこでも、誰にでも適切な医療を受ける」ことが可能となります。

病状を説明してもらえ

「かかりつけ医」は、患者の疑問に率直に丁寧に答え、納得のいく治療方針を検討してくれます。

また、患者の生活を支援するために、地域の医療・保健・福祉介護機関へのコーディネーターの役割も担ってくれます。

必要な時にふさわしい医療機関を紹介してもらえる

「かかりつけ医」は、高度の診療機能を持つ専門病院との連携で、それぞれの機能を分担。病状に応じてふさわしい医療機関、医師を紹介してくれます。

普段健康だから「かかりつけ医」なんて要らないとおっしゃる方、引っ越してきたばかりでまだ決めていないとおっしゃる方、そのような方でも、急な病気はもちろん、健康のこと、医学や医療のこと、いろいろな些細なことも気軽に相談できる「かかりつけ医」を持つことをお勧めします。

お知らせ

3月の専門外来は以下のとおりです。

| 3月 | 名前 | 科 | 専門 | 3月 | 名前 | 科 | 専門 |
|--------|----------|----|-----------|--------|----------|-----|---------------------|
| 2日(火) | 土持 茂之 先生 | 外科 | 腹部外科・血管外科 | 16日(火) | 高村 和人 先生 | 内科 | 内科・消化器内科 |
| 9日(火) | 藤原 敬士 先生 | 内科 | 消化器(内視鏡) | 23日(火) | 多田 譲治 先生 | 皮膚科 | アレルギー性皮膚疾患・皮膚細菌性感染症 |
| 30日(火) | 光生病院医師休診 | | | | | | |

医療機関にかかられる際のお願い



現在のコロナ禍の状況において、院内感染防止のため、受診される際には必ずマスク着用にて受診して頂くようご協力をお願いいたします。

また、風邪症状など、体調がすぐれずに医療機関受診の際には、事前に医療機関へ電話連絡をして頂きますようお願いいたします。(特にコロナ流行地への移動後や、その地域から来られる方と接触後に症状が出た場合。)

感染拡大防止のため、皆様のご協力をお願いいたします。

哲西町診療所

令和2年度 野馳小学校と地域ボランティア ～支えて、支えられて続く活動～

新見ふるさと発見のびのび体験事業として、哲西地域の自然、文化、食などについて学ぶ「ふるさと学習」が熱心に行われています。強力な地域ボランティアコーディネーターを中心に、年間のべ200名ほどの地域ボランティアが学校教育の支援にあたっています。

その成果は短歌にもあらわれ、全国的にも高評価を受け「NHK全国短歌大会（令和元年度）」で学校賞を受賞しました。

野馳小学校（校長：二嶋 優子）ホームページから抜粋

全学年

放課後学習サポート

毎年5月から月1回、水曜日の6校時にボランティアの方にお世話になっています。主に子ども達が取り組んだプリントの丸付けなどをしています。職員はその間、研修や職員会議をすることができ、大変助かっています。



読み聞かせボランティア

月1回、読み聞かせボランティアの方が学年に応じた本を選び、朝の時間、読み聞かせをしてくださいます。



3年生

大野部みそ

1月15日、大野部の加工場で3年生が「大野部みそ生産組合」の方と一緒にみそ作りを行いました。



昔の道具

1月26日、旧哲西認定こども園で3年生が「哲西民俗研究会」の会員から昔の道具について話を聞きました。



4年生

鯉が窪湿原フィールドワーク

7月1日、4年生が鯉が窪湿原のフィールドワークを行いました。



鯉が窪湿原保全活動

11月26日、鯉が窪湿原で4年生が「鯉が窪湿原を守る会」の方々に指導を受けながら保全活動を行いました。



5年生

ご飯・味噌汁作り

11月9日、野馳小学校で5年生がボランティアの方に手伝っていただき家庭科の調理実習を行いました。美味しいご飯と味噌汁が作られました。



飛左おばあさんの昔話

2月4日、下野部の集会所で5年生が「昔ばなしの里こっぶり」の会員の方から飛左おばあさんの昔話について「語り」の指導をしていただきました。



6年生

短歌とお茶

12月1日、若山牧水ゆかりの二本松公園の熊谷屋で6年生が短歌の推敲を翌松短歌会の方からしていただき、お茶の作法を川上由子(元野馳小学校教頭)さんから教えていただきました。





哲西子育て広場

市の委託を受けNPOきらめき広場が運営

毎週月、水、金曜日
10:00～15:00
月1回 土曜日
10:00～12:00

3月の
予定

● 8日(月)～12日(金)
13:00～随時
13日(土)10:00～12:00
「プラバン工作&
グラスデコ工作」

※全日、12時～13時までメンテナンス
のため閉館しています。



ひな飾りを作ったよ!



元気に仲良く
遊んでいます



作品展の
お知らせ

～東城町近郷の生徒さんの20年来の集大成～

お婆女の手遊び作品展

主催▶手芸百般何でも造ってみよう 代表 菅野 節子

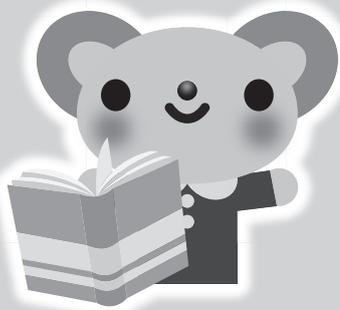
開催期間▶令和3年3月6日(土)～4月4日(日)
三楽荘開館日(金・土・日・月)
午前10時～午後4時

場 所▶庄原市三楽荘(東城町)

*期間中の土・日にワークショップを開催します。

問合せ先▶菅野 090-5265-1836(午後6時まで)
08477-2-0493(夜間)





図書館 だより

新見市立哲西図書館

TEL 94-2110 FAX 94-2100

年中無休

年末年始、蔵書点検日を除く

哲西図書館利用者のための 乳幼児一時預かり

毎月第1・第3月曜日
10:00~12:00

きらめき広場・哲西プレイルーム



★今月の展示本

展示コーナー

「芥川賞・ 直木賞」

第164回直木賞「心淋し川」西條奈加さんの作品を中心に、人気の芥川賞・直木賞の本を展示しています。



児童コーナー

「春」

寒い冬が終わって春がやって来ます。桜やタンポポ、虫や動物など春をテーマにした絵本を選んでみました。



★読書交流会 (要申込)

3月9日(火)
14:00~



参加費：無料 (飲食の提供は無いです)

★お雛様の展示

3月中、図書館入口からホール前スペースに三次人形や七段飾りなどを展示しています。

「哲西きらめきひな祭り」は中止ですが、地域住民のボランティアスタッフが実行委員会所蔵のお雛様を展示してくださいました。

是非、お立ち寄りください。



★古本リサイクル

3月27日(土)~3月28日(日)
9:00~19:00

恒例の古本リサイクル、本や雑誌をご自由にお持ち帰りください。

社会福祉法人 哲西福祉会
看護師・調理職員を
募集しています



詳細は、特別養護老人ホーム哲西荘
(TEL 0867-94-3533)まで
お問い合わせください。

哲西荘 の作品

哲西図書館に哲西荘
の皆さんが、掲示し
てくれました。
いつもありがとうございます。



ご寄付

ありがとうございました
(敬称略)

■香典返し

○小田 弘人(亡父勇美)・矢田
老人クラブ白菊会へ 金一封

■見舞返し

○寺岡 薫雄(本人)・上神代
老人クラブむつみ会へ金一封
○赤木 幸恵(本人)・上神代
老人クラブむつみ会へ金一封
○川上 優子(本人)・上神代
老人クラブ協和会へ 金一封

哲西荘へ

■香典返し

○田辺 浄二(亡母さわよ)・八鳥
…金一封

■一般寄付

○兒玉 佐敏・岡山市 …金一封
○田口石油興業(株) …山陽新聞
○松陽産業(株) …備北民報
○妹尾観光バス・妹尾タクシー …備北民報
○いくま石油(株) …山陽新聞

NPO通信

コロナとコミュニティ

2度の緊急事態宣言が出されるなど新型コロナウイルスは日常生活に大きな影響を及ぼしてきた。ワクチン接種も始まったがすぐに終息するという

ことにはならないようだ。

仮に終息したとしても新型コロナウイルス自体が絶滅することはないと言われており、コロナ以前の生活に戻ることは100%ないと断言する専門家が多い。

だとすると、終息後の生活のあり方や地域社会のありようを考えることが急務ではないだろうか。

不要不急の外出や会食・大人数の集会や行事の自粛など、人と人が直接触れ合う機会が制限されてきた結果、地域コミュニティの結びつきが弱体化の方向に大きく進んだような気がしてならない。

恒例のひな祭り・湿原まつり・盆踊り・健康福祉まつり・敬老会などの大きな行事やイベントが軒並み中止になり、地域の秋祭りも式典のみの縮小開催など様々な場面で人と人とのかわりが薄くなる事態に直面してきた。

いつの時代でも同じだが人口減少時代のこれからは、特に、互助・共助がなければ地域の暮らしの維持が難しくなる。

その基盤が、人と人との絆であり地域のコミュニティである。

コロナ後の確かな地域コミュニティの再構築を、今、みんなで真剣に考え行動を起こすことを提案したい。

問い合わせ先

NPOきらめき広場 事務所 / 〒719-3701 岡山県新見市哲西町矢田3604

Tel(0867)94-2143 Fax(0867)94-2100

ホームページ <http://www.npo-kirameki/> Eメール post@npo-kirameki.jp